

《随想》

私の戦後六十年

⑭

栗城博



昭和六十四年一月、昭和天皇が崩御され年号が昭和から平成に変わった。年号が変わっただけでなく、日本が変わる前兆でもあった。

平成元年四月には、わが国初の消費税3%が導入された。バブルの絶頂期で、公定歩合が五月、十月、十二月と三度も上がった。投機による地価の高騰を抑えるため「土地基本法」が施行され、知事に届け出なければ土地取引が出来なくなつたが、不動産景気はまだ続くと思われた。年初三万円の株価が年末には最高値の三万八千九百円をつけた。

足元を固めるため、資本金を増資し一千万円にした。事務所が手狭になつたので、ホワイトビルの二階に引っ越した。広さは四倍、家賃が五倍になつたが見合ふだけの仕事が出来た。社員も増え、会社のランクが一段上がったことが実感でき嬉しかった。個人所有の相模原の貸事務所も、銀行の融資を受けて建替えた。中国では天安門事件が起きた年だった。

平成二年、前年末の高値を更新すると思われていた株価が、三万八千九百円をピークにストンストンと下がり、年末には二万一千円台まで下つた。身辺に大きな変化はなかった。東西ドイツ統一の年であった。平成三年、資本金を二千万円に増資する一方、『田舎料理みちのく』を閉店した。

金融引き締めや不動産関連融資の総量規制導入などから株価の負のスパイラルが始まり、それに伴って拡大戦略をとってきた同業者の倒産が出始めた。

「良ければ悪くなる」、前の会社の経験を活かし、自己資本の範囲以上に無理な拡大戦略を取らなかつたことが幸いし無難な日々だった。

一月、湾岸戦争が勃発。十二月ソビエト連邦が崩壊した。平成四年三月、友人に誘われてオーストラリアへゴルフ旅行に出掛けた。まだ不景気の厳しさが感じられなかった。

不景気で採用してくれる会社がないからと頼まれ、女子高新卒を二名採用した。採用して驚いた。社会人の常識として出来て当たり前と思う挨拶も会話も出来ない。学校では何を教えているのだろうと思つた。それ以来即戦力になる者しか採用していない。平成五年、六年は特別なことはなかった。

平成七年一月、阪神淡路大震災が起きた。死者一一四六名。建物全壊三万四千戸、半壊二万七千戸。都市直下型地震だったから被害は大きかった。

これが契機で建築業界は大きく変貌していくことになったのだが、もしこれが地元で起きたらと想像すると恐ろしかった。そして、私どもが今できることは何かと考へ「マイホームの買ひ方・建て方」のアドバイスが最適と思ひ、六月から無料セミナーを始めた。それが今日まで十五年続いている。

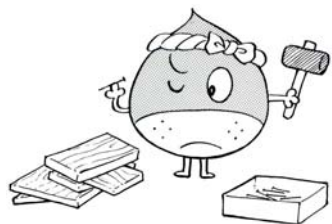
九月、関連会社アサヒホームを一千万円で設立。後にウインズホームに改称したが、良質で均一な住宅を提供する為の図面と施工とアフターを行う目的であった。

つづく

ただいま工事中!

相模原市R様邸

《10月末完成予定》



R様邸は4LDK+納戸の約34坪の建物です。小屋裏収納も取り合わせたゆとりの空間を実現しました。ソーラーパネルに合わせたブルーとホワイトのツートンの爽やかな外観。約3KWの太陽光発電とオール電化仕様のエコ住宅が完成します。



泉区M様邸

《11月末完成予定》

M様邸は1階2LDKと浴室・洗面所・トイレ、2階は3LDK+書斎・トイレにシャワー付きの二世帯住宅です。建坪は約48坪で収納もたっぷり、屋根裏収納は何と20帖の広さ!! M様、こだわりの内装も…完成が待ち遠しいです。



着工中の現場紹介!

町田市Y様邸

《10月2日上棟》

Y様は神奈川西部在住、ご主人様の転勤をきっかけに町田市に土地を購入されました。

Y様ご夫妻のこだわりが詰まったオール電化住宅です。2階浴室・洗面、収納が充実した3LDK+納戸です。玄関のシューズクロークもこだわりの一つです。ご主人様から奥様への超ビックなクリスマスプレゼントになりますね♪



中区Y様邸

《10月中旬上棟》

Y様はまだ20代半ばの若いご夫婦と、もうすぐ1歳になる赤ちゃんの3人家族です。奥様のご両親と同居していましたが、築35年の2階建てを3階建に建替えることにしました。新築後は別居のおじいちゃん、おばあちゃんとも同居となり、ワンちゃん、ネコちゃんも4匹同居です。年内には新居に引越し予定なのでお正月はにぎやかになりそうですね♪



旭区T様邸

《10月中旬上棟》

T様は、80坪を超える利便性の良い敷地に約40坪の建物を新築します。20帖を超える広々LDKに畳コーナーを設けたり、L型インナーバルコニー取付など双子のお譲ちゃんの遊びのスペースも反映した間取りとなります。小屋裏収納へ続く固定階段も魅力です。

